

編輯室の内外

つばめ飛ぶかげのみみえて田植時家になき小山田のさとIIの御製を拜誦しつゝ、思ひを手肘に水沫かき垂り向股に泥畫き取る農村に馳せながら六月號の編輯に従事した、本月號は六天都市街路に關する研究協会の討議を詳報する爲め其の特輯號としたのである。其の研究問題は獨り六天都市に限らず汎く他の都市は勿論全國の交通問題に關係がある。數年後のオリンピックを控へての今日實に愷切な研究で、讀者各位の清讀に値ひするものと信ずる。

今日我邦に於ける問題は多種多様であり而かも随分摩擦のするどさをもつてゐる、夫等問題中政局の不安定は摩擦あるべくして摩擦生ぜず、摩擦なかるべかりしに摩擦を生じ、政府者と民政兩黨人との間に背中は合せの鬭争が演ぜられて居るかとも思はれ、一般國民は夢に幻を見るが如く感ずる。鐵創鐘は何時消解するのか、物價騰貴は物價對策委員會に於て如何なる妙案明策が講ぜらるゝであらうか、綜合的國是として如何なる新政策が企畫廳に依つて考案せらるゝであらうか。文教審議會に於て如何に國體の本義明徴方策を具體化し、我國獨特の政治形態が研究せらるゝであらうか。其の成果を待望して已まない。

義的自由主義と旺盛なる日本主義即ち行き過ぎた國粹主義との衝突を避けんが爲めのアンパイアを以て自任する林首相は偏執固我を誠め減私奉公を強調して國民に正しき時局認識を、政黨人に熟慮反省を要求せらるゝ。之に對立して共產主義を極度に排撃し而かも政治の現状維持を主張する民・政兩黨人は林アンパイア首相に依つて膺懲を加へられて處女的態度から臆鬼的態度に急變して民意を蹂躪し濫に自我獨善を之れ事とするは林内閣なりとし打倒運動を開始した。河原田内相は一面に於ては現状打開に急なるの餘り妄りに詭矯過激の思想を宣傳して社會の不安を醸成するものと共に他面に於ては徒らに現状維持を固執し誣妄の説を流布して以て人心を惑亂するものあるを看取して長太息を禁ずる能はざるの思を公にして居る。

這回の會議に列したる各地方長官は任地を離れて輦轂の地に來り親しく中央の政情に接し、林總理大臣から自己の決意と見識とを能く部下に反映せしめ、各般の行政の運用に當つては常に時局に對する正確なる認識を廣く國民に透徹せしめて國力の綜合的發展を圖るべきの啓示を受け内相、外相、法相、陸海兩相、文相其の他各相から各其の受持ちの立場からの訓示を受けられた、之を任地に應用するの覺悟や奈何。

昏迷、混亂、混沌を極むる政情下に第三國民は雲中戰を仰ぎつゝも敢然として生活と戦ひ、生活力の旺盛を圖り、率ゐて國力の充實に盡し常識的な合理的な實際的な心構を以て帝國民として社會人として將又家庭人としての責任を遂行することは寸刻も之を忽にしてはならぬ、時局の對策は先づ國民をして速に現實的に國政の歸趣する所を知らしむるに在るのであらう。

國防の完壁も生活の安定と文化の發達も交通の整備を怠つてはならない、交通の整備は實に道路の改良からである。(洗)

定價一部 五十錢
一ヶ年分 金 六圓

發行所 社團 道路改良會
東京市麹町區外櫻田町一番地内務省内
電話銀座574四二七

發行所 東京市世田ヶ谷區北澤五丁目七五二
編輯者 小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五十六
印刷者 常磐印刷所
印刷者 奈良直一